

出題分析		
試験時間 90 分	配点 ※	大問数 3 題
分量 (昨年比較) [減少 同程度 増加]		難易度変化 (昨年比較) [易化 同程度 難化]
【概評】 ここ数年、関西大学の英語は出題の形式に大きな変化はなく、その分対策がしやすいと言える。だが、それぞれの大問にいくつか紛らわしい設問が見受けられ、そうした問題にいたずらに時間を取られないよう注意する必要がある。試験時間は 90 分で、大問は 3 題。大問 I は、会話文の空所補充と、文整序から成る。大問 II の長文読解は、空所補充と内容一致文完成が出題される。大問 III の長文読解は、内容一致文完成と質疑応答が出題される。		

※ 学部・型・方式により、配点が異なる。入試要項を参照。

設問別講評			
問題	出題分野・テーマ	設問内容・解答のポイント	難易度
I	A. 会話文 「ジムの店員と客との会話」 ○211 語(昨年: 145 語)	A はジムの説明を聞きに来た客と店員との会話。空所の前後の意味の流れに注目することが重要。(3)の rates は「料金」の意味。空所(5)の後の Sign me up! は「私の入会手続きをして!」ということ。	標準
	B. 文整序 「代替肉の可能性について」 ○246 語(昨年: 219 語)	B は代替肉の可能性について述べた文章。A の 13,000 tons の言い換えが D の That level of production になり, 170 companies を E の these companies で受け, some people may have doubts about its taste を B の However, ~ delicious で対比させ, by 2040 を F の At present と対比させ, C につなげる。C の 1 文目の文末には, than the farming of animals for food が省略されている。	標準
II	長文読解 「ヴァイキングと虫歯との戦い」 ○語数: 854 語 (昨年: 949 語)	中世ヨーロッパに生きたヴァイキングの歯の健康状態や, 虫歯に対する治療方法などについて述べた文章。B の内容一致の(4)は, この段落では当時の歯科治療の方法の提示に終始しているので選択肢 B が最も適切。(7)の選択肢 A の better は, 最終段落の surpass の言い換えになっている。	標準

設問別講評			
III	長文読解 「オンライン上の交流におけるボディランゲージ」 ○語数：803 語 (昨年：843 語)	マッチングアプリ等で交流する際に使われる，オンライン上の「ボディランゲージ」について述べた文章。正解を絞り込むのが難しい設問が散見された。A の内容説明の(10)は，while 節と主節の対比や，下線部の後の内容から判断できる。B の質疑応答の(2)は，同段落 1 文目の 69 percent of those surveyed rely on DBL ～が解答根拠になると考えられる。	やや難

設問構成 (設問数・形式・内容)						
大問番号	設問数	選択式				
		空所補充	文整序	内容一致文完成	質疑応答	その他
I	2	5	6			
II	2	15		7		
III	2			7	10	

※「選択式」の欄の数値は，各設問内の小問数を表す。

合格のための学習法
<p>比較的分量が多く，さらに難解な文章を読ませる関西大学の英語で合格点をとるには，確固たる語彙力と，文法に基づく強靱な読解力を身につけることが肝要だ。そのためには1学期のうちに文法をしっかりと理解し，読解にどのように運用していくのかを学ぶことが重要になる。夏以降は過去問などを使用していくが，まずは読む速さを気にしなくてもよいので，着実に英文を理解し，論拠を持って解答できるようになっていくことを目指そう。傾向分析や戦略も重要ではあるが，英語の力を伸ばすことと向き合わずして合格への扉は開かれない。一歩ずつ着実に歩みを進めることができた受験生にのみ，未来は開かれる。</p>